

小規模企業景気動向調査(2月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

材料や経費の上昇分を販売価格に転嫁できず、採算が悪化している。廃業を検討する事業所からの声も聞けるようになってきている。従前は賃金のみが顕著に上がっている印象だったが、経費全体に渡って値上の効果が出ている。

(射水市商工会)

島内の基幹産業である観光業は一昨年以来2年を経過し入込客は中々継続的な回復が図れていない。3月前半でまん延防止措置が解除されたら、これからの観光シーズンに人の動きがあることで不透明さはあるが、島内景況回復が見込まれる。

(屋久島町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

業主によりコロナの影響が色濃く出ている。飲食業、また飲食業とつながりの深い業主は非常に厳しい状況。また、原油高による輸送コスト増、ガソリン上昇とコロナによる外出抑制と悪状況が続いており厳しい面があるが比較的ニュートラルに捕らえている。(コロナ慣れ...)支援金については、事業再生が30%以上の減少条件が意外とネックになっている。たとえば6ヶ月の売上が前年比15%とか20%減とか、1ヶ月だけ30%減少、50%減少の事業所より6ヶ月、1年と一定期間を平均すると支給対象にならないが減少額が大きい事業所などもあるが、支給対象とならないのが歯がゆい。

(小平町商工会)

新型コロナのオミクロン株の感染が管内でも拡大し、複数のクラスターが発生するなど事業や生活への影響を大きく受けている。管内では特に飲食店関連の事業者が打撃を受けており、事業継続への懸念が高まっている。事業復活支援金の申請支援の相談が大きく増加しており、資金繰りが厳しい事業者が増えている。地域内で賛否はあったものの、高いレベルでの感染防止対策を講じながら国体及びインカレが開催されたことにより、一定の地域経済効果への好影響があった。

(会津美里町商工会)

依然として新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いている状態である。それに加えて、例えば電子製品等については製品に用いられる基盤等が入手できないため、顧客に売れず売り上げが減少するといった事態も生じている。また、最近では徐々に事業復活支援金の申請も増加してきており、直接的な景気変動には関係しないかもしれないが、支援機関としては来年度も消費喚起策を考案するなど、今後も継続して各事業者において景気回復のための一助を担わなければいけないと感じている。

(日高市商工会)

まん延防止等重点措置により、飲食店は時短営業を実施しているが、前年同時期のように休業をしている店舗はそれほど多くは見られない。しかし、以前に比べて客数、客単価ともに減少しており、今後、解除の方向に向かってもこれまで通りの売上は見込めないのではないかとの声は多く聞かれた。また、幅広い業種において、原材料や資材の高騰による打撃を受けている。また、事業復活支援金に関する相談も増えてきている。

(羽咋市商工会)

オミクロン株の流行による感染拡大で再び需要が減退している。また、材料や原油価格の高騰で更に経営状態は悪化している。長引く厳しい状況で経営体力も苦しく、支援金等、国・県・市町村の支援もあり、持ちこたえてはいるものの今後の景気の回復状況によっては廃業せざるを得ない事業者も増えてくるのが考えられるため、消費喚起や支援策を練る必要がある。

(松阪北部商工会)

1月下旬から3月上旬にかけて長崎県でもまん延防止等重点措置がとられ、対馬市内の飲食店に対しても時短/休業要請がなされた。2月中旬までは酒類の提供が認められなかったため、2月いっぱい休業することを選択した事業者が殆どである。今後の事業継続のモチベーションが非常に懸念される。時短営業協力金は受給できるものの、毎月の固定費(家賃や水道光熱費など)は削減が難しいことから多くの事業者が資金繰りに窮しており、当商工会に協力金申請支援依頼が殺到している。

(新富町商工会)

年末年始にかけて、まん延防止の解除により、飲食店をはじめ、外出にて食事する世帯が増えてきたが、すぐに第6波に突入し、振り出しに戻っているように伺える。県下は2月8日にまん延防止が解除されたものの、感染者が未だ1,000人前後であることから外出自粛をしている世帯がいる。今後は、ワクチン接種者及び感染者状況を見ながら事業展開していきたい。

(中城村商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

製造業は全体的にコロナ前の水準に売上が戻ってきている。一方、国際情勢の不安感から今後の見通しは不透明。経費上昇や、需要低下の懸念もあるため、楽観視できない状況。

(茂木町商工会)

繊維工業は先行き不透明ながら受注に回復の兆しが見え始めている。機械金属製造業は自動車、建機、建材部品いずれも増産の見込みあり。現状は売り上げ横ばいも見通しやや良。資材単価が大幅に上昇しており製品単価に反映すべく交渉するもなかなか厳しく採算面で悪化し今後の懸念材料である。

(小矢部市商工会 津沢支所)

業界全体としては、業況は回復しているが、取扱製品によって格差が生じている。

(大月市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

食料品…本市のコロナ感染者は小中学生を中心に増加傾向にあり、部活動等の中止から弁当の売上にやや影響が出ている。原材料の高騰は依然続いており、加えて光熱費の価格が下がらないようであれば販売価格への転嫁が避けられない状況。繊維工業…県外企業との取引が主であるため、コロナ影響で営業アプローチが出来ていない。受注量に波があるため売上也安定せず先行きは不透明。機械・金属…省力化生産設備の設計から組立を手掛ける小規模事業所では、大手からの設計案件は仕様が固まらず作業が進まないものが多いが、前年以上の受注に恵まれている。自社商品の動物医療用診療台生産では計画通りで推移し、安定が続いている。

(由利本荘市商工会)

食料品関連の事業者は、業務用品(飲食業など)は低調で、回復の兆しが見られない。ほぼ全ての仕入れ品、消耗品などが値上がりして採算が合わなくなっている。価格転嫁が急務となっている。繊維工業関連の事業者は、4月までの受注は確保しているものの、2月の売上は前年同月比で30%減。2年前と比べると50%以上減少しており、事業復活支援金の申請を検討している。外出自粛のムードは依然変わらず、首都圏 Apparelからの受注は下降気味。機械・金属関連の事業者は、材料費の高騰で利益がとれず、資金繰りが厳しい。

(かづの商工会)

織布業では同業者の廃業に伴い受注量が増加傾向にあるが、古くから使用している織機が、メーカーが廃業している為に電子基板が壊れると修理が不可能な状況を聞いた。

(浅羽町商工会)

食品製造業においては、原材料の仕入単価高騰により、4月から商品価格を上げざるを得ない事業所が多く見受けられるようになった。また、自動車関連の部品製造業については需要が低迷しており、売上減少が懸念されている。

(武豊町商工会)

半導体不足の影響により部品供給の遅れがみられる。また在庫リスク回避により、最小ロット最短納期を求められている。また海外シフトから国内に移行傾向にある。木材や金属など材料価格の高騰で仕入価格の上昇が加速しており、厳しい収益環境が続いている。食品製造業もまた、原料の高騰により収益に影響があるものの、アフターコロナ、ウィズコロナに向けての対策強化を思案している。

(雲南市商工会)

建築構造物の製造業では、原油価格高騰を中心に様々な要因が絡んだ影響で、鋼材の仕入価格が高止まりの状況となっている。原価率増加分を価格転嫁するにもタイムラグが生じ、今後の動向も不透明な部分が多いことから、情勢を見守りながら慎重に受発注を進める予定となっている。

(岡山北商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

年度末の公共事業の実施により業況は堅調に推移している。

(大月市商工会)

年度末の公共工事やハウスメーカーの新規着工件数もコロナ禍でも2月は伸びている。

(湖西市商工会)

リフォーム・設備関連事業者は、コロナで過剰注文が無くなり、自社従業員で全て作業が行えることで利益が安定している。

(田原本町商工会)

建設業においては昨年同月比で業況は好転。昨年末よりは落ち着いたものの年度末に向けても、安定した受注がある。

(玖珠町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

材料価格の高騰や施主の資金繰り悪化により工事が延期になったなどの声が多くなってきている。今後今回の戦争によりどのような悪影響が出てくるのか心配する声が増えている。

(中泊町商工会)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、依然として景況はよくなく、先行き不透明となっている。また材料の価格が上昇傾向にある。

(丸森町商工会)

土木建設業においては冬期間の除雪作業が例年より増加して売上利益とも増加した。木造建築及び設備業においては材料の調達に厳しく価格も高騰しており経営状況は厳しい環境にある。

(会津美里町商工会)

建設業においては受注機会が増加してきているが、それに伴い仕入単価(ウッドショック)の上昇、または住宅関連であると相変わらず給湯器等の設備が入ってきていない。

(五霞町商工会)

ウッドショックによる材料仕入代の高騰が現状でもなお値上がりし続けている状況である。また、半導体不足やコロナ禍による海外での工場閉鎖等の影響で、トイレやエコキュート、照明、IH、ドアなどの住宅資材について全般的に納期が遅れており、通常発注後1週間程度で納品されるが、現在3か月程納期がかかっているため、それに伴い引渡し時期が遅延している。

(唐津上場商工会 経営支援センター)

土木工事については公共工事の数が多く安定。建築工事については予算が災害復旧に取られているため公共工事は少ない。また民間工事については新築工事等は減少しているが、小規模な改修工事等の引合いは多い。材料価格の高騰については価格転嫁を行えているので利益率への影響は少ない。

(日田地区商工会 大山支所)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

プレミアム付き商品券事業により、市内の小売店は売上の増加が見られた。

(鎌ヶ谷市商工会)

衣料品販売で春物衣料が好調な気配が出ている

(羽咋市商工会)

石油製品・小麦粉関連製品の高騰による販売価格の高騰はあるが、売上額は上昇している。

(裾野市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

衣料品…売上・利用者数については前年同月に比べ減少している。コロナ禍で店舗前の人通りも殆どない。仕入は、定期的に売上のあるものだけに限定している。食料品…毎年開催されていた地域行事が少なく、酒販売が減少していることと、スーパーには価格で敵わないこともあり、売上、顧客とも減少傾向。商品発注についても、過剰在庫にならないよう自助努力している。耐久消費財…エアコン本体について、世界的半導体不足に加え、コロナの影響で東南アジアの工場が休業していることもあり、納品が半年近くの商品が増えてきている。また、商品価格も2割程度上昇。例年、この時期にエアコン本体を大量仕入れしているところだが、見通しが立たない。

(由利本荘市商工会)

衣料品関連の事業者は、昨年と比較し15%ほど売上減少。地域内でコロナ感染者が増加していることで外出を控える傾向で商品が売れない。食料品関連の事業者は、オミクロン株の蔓延で外食控えが過去最も激しくなり、業務用米の動きもそれに合わせて細くなった。肥料を中心に農業資材は仕入れ前に更に値上がりし続けている。耐久消費財関連の事業者は、変わらず売上は低迷している。ガソリンと灯油を筆頭にさまざまなものが値上がりしており、負担感が増している。

(かづの商工会)

衣料品小売業はコロナと原油高騰が原因で、物価が上がってきているのを実感する。外国からの原料や部品が入ってこない傾向が続いている。業界では廃業する人が全国的に多い状況。食料品小売業は宴会が全くない状況が続き、コロナ前に比べてかなり厳しい。復活支援金の申請を検討している。水道光熱費やガソリン代など必要経費は上昇する一方で、生活も厳しくなっている。耐久消費財小売業は2月は雪の影響で人の動きが鈍く、売上も伸びなかった。コロナの影響で海外からの部品の輸送が滞っており、電話、照明器具(センサー)、ブレーカー等の納品に支障が出てきている。1月に発注したものの納品の返答がない。

(小矢部市商工会 津沢支所)

食料品はコロナ禍の影響が一段落し、業務用の納品が帰ってきたが、再びコロナ禍の影響が大きくなっており来月は売上の減少を予測している。コロナ禍による巣ごもり状態により、特に外出用衣料の動きは鈍い。またネット通販に大きく流れが取られている。家電は供給不足が続き、購買に抑えられている。

(射水市商工会)

まん延防止等重点措置が解除されず、外出の自粛や営業時間の短縮などの影響により売上の減少となった。、アパレルや雑貨、家具類販売関連など小売業では、悪化度合いが大きくなった。先行きについては、リベンジ消費に期待感はあるものの、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞に不安を募らせている。

(川西市商工会)

オミクロン株の拡大で、外出の機会が少なくアパレル需要が戻らない状況が続いている。また、原料高騰に伴い仕入価格も上昇。中部地区でも新型コロナウイルス感染者が増加し、休校や休業に伴い来店者が減少した。雪の影響もあり売上は減少しているが、各支援金給付基準の30%減少には至らず厳しい状況である。以前として新車が入ってこない。中古車も人気車は入らない。

(中部商工会産業支援センター)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

長野県では1月末から3月初めにかけてまん延防止等重点措置が実施されていたが、警戒感が薄れているためか、宿泊関連のサービス業は、コロナ前ほどではないものの、持ち直している。

(南木曾商工会)

理美容業では前月来店を控えていたこともあるが、前月に比べ特に2月下旬から客足が戻ってきておりやや好転しているようだ。

(飯塚市商工会)

感染症対策の取り組みのためかコロナウイルス感染者が増えても、影響が少ない。

(熊本市北部商工会)

旅館・宿泊業については、サービスの多様化により新たな収益方法を模索する事業者もあり、業況はやや改善。

(玖珠町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

サービス業は冬季シーズンを迎え、ウインタースポーツ関連の客足もコロナ感染拡大で鈍り、どこも資金繰りが厳しい状況が続く。村の中でも小中学校関係のコロナ感染拡大により、2月は本当に出歩いていなかった。これから春・GWを迎えていく中で、売り上げを確保できる見込みが少なく、大変苦慮する。加えて原油高騰により暖房費増加により経営を圧迫する状況が続く。

(南牧村商工会)

まん延防止等重点措置により、外出の自粛や営業時間の短縮など人流抑制の影響で、旅館業は、休業するなど悪化が前月同様に続いた。飲食店も時短営業で影響を大きく受けており、個人向けサービスの悪化度が大きいままを維持している。観光関連業も悪化傾向が継続した。

(川西市商工会)

理美容関係では、来店客数が減少しても次月には戻ってくるといった状況で固定客があるが、新規顧客を獲得するのに苦慮している。クリーニング業は外出自粛やイベント等の縮小化により減少している。

(丹波市商工会)

まん延防止の営業時間短縮等の要請により、夜間営業の飲食店は、協力金の支援を受ける予定である。期間終了も県内及び市内の感染者が毎日報告されている状況にあり、要請前の状況への回復は日数を要する状況である。宿泊業においては、グループ利用の少人数化が顕著になっている。宿泊客が戻りつつあるが、スタッフを削減した反動で受け入れ体制不備。飲食店は、小規模宴会が中心。食材、燃料とも、高騰する経費に価格転嫁したいのが正直な意向。

(雲南市商工会)

旅館：事業復活支援金など給付制度はありがたいが、規模に見合った給付金額でないため、まん延防止が解除されたのちの消費者の動きによっては厳しい状況はまだ続くと考えている。洗濯：原油高の高騰は事業に影響大。クリーニング以外にも車を使った配達も多いため負担は大きい。理美容：2月は例年売り上げは落ち込む時期ではあるが、コロナ感染者が増加しており、さらに客足は低調になったと感じる。引き続き、お客様に安心して来店いただけるよう、感染対策に留意し、接客対応していきたい。新たなサービス展開も考えてお

(みまさか商工会)

宿泊業に関しては、新型コロナウイルス感染者数の急増・高止まりにより観光客が減少し、景気は悪化している。感染者数が下火となった時は回復の兆しが見え始めていたが、この一ヶ月で水を差された状況である。理美容業に関しては、感染者数の急増・高止まりに関係なく来店しており、売上は水準を維持している。

(上島町商工会 弓削生名支所)

原油の高騰による影響がある。電気ガス代の値上げと、特に洗濯業においては、原油製品(ドライクリーニング・ハンガー・ビニール、等)の値上げ、15%~40%増。これから先も上がり続ける傾向にある。

(山都町商工会)